

毎週日曜発行
2023 7/2

こども新聞 週刊がほピヨンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

39

おいしく食べて元気になる。みんなにもそんなお気に入りのご飯やスイーツがあるよね。料理と菓子作りについて詳しく、カフェを開いている人に子ども時代の話を聞いたよ。

塗り絵やお絵描きをずっとしている真面目な子どもでした。わがままな面もあり、幼稚園に入ってから「行きたくない」と駄々をこねました。家族に「かわいい」と言われて育ち、自分が一番と思っていただけなのに、園にはかわいい子がいっぱい。「好き勝手したら友達

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

絵本のカレー作って満足

親の仕事が忙しく、食事作りは祖母の担当。和食ばかりで洋食は並びま



達ができない。みんなにやさしくしよう」と程なく考えを改めました。

小学校に入る頃、留守番中に2歳上の兄と一緒にイチゴのサンドイッチを作りました。食パン一斤全部使い、作るのも食べるのも楽しかったのを覚えています。

最初は小さなおぼけの絵本に出てくるカレー。人生初の中辛味で絵本にないマカロニも入れ、おいしくて大満足でした。おなががいっぱいになり

「マカロニは入れなくていいや」と思いました。母に子ども用の料理本を買ってもらい、ハンバーグやポテトサラダを作りました。吹奏楽の練習がある土曜は甘い卵焼きを作り、他のおかずと一緒に自分と母の弁当を3年間詰めました。作ると喜んで食べてくれるのがうれしくて、料理が好きになりました。いとこが栄養士になっ

家族と開いたカフェは体に良いとされる材料で和定食やカレー、甘味を出し、一番人気はあんみつです。孫と祖母など、幅広い世代が来てくれるのがうれしいです。食べることで人は元気にも楽しくもなり、地域や人をつなぐきっかけにもなる。みなさんには食に興味を持ち、好きな物を作ってみてほしいです。



鈴木茜さん(43歳・料理研究家、カフェ経営) すすき・あかね 大崎市出身。宮城学院女子大卒。仙台市の旧(きゅう)しらはぎ料理学校主宰(しゅさい)の河合伸子さんのアシスタントを務(つと)め、2008年に料理研究家として独立。17年4月、泉区に「喫茶(きっさ)と食事 みどり」をオープン。仙台市在住(ざいじゅう)。

鈴木茜さん(43歳・料理研究家、カフェ経営)

た影響で大学で栄養学を学び、管理栄養士の資格を取りました。でも、希望の給食関係に就職できず、料理教室のアシスタントに。そこで出会った生徒の食の情報、料理研究家の知識の豊かさに圧倒され、仕事の後に通信講座で学び、調理練習を重ねました。5年で独立し、教室とレシピ開発、撮影用の料理のコーディネートをしています。



今週の注目ニュース

◇3日(月) ソフトクリームの日
1951年のこの日、アメリカの進駐軍が明治神宮外苑(東京)で米独立記念日を祝う祭りを開催。模擬店でコーンカップのソフトクリームが販売されました。最近では地域の特産品を使った味も人気ですよ。

みんなの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー